公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすみれ-class		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		2025年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団での活動の前に20分間学習タイムを設けており、その時間には決められた席で座っていることが出来る児童が増えている。これは将来、就労等での強みとなる。	児童それぞれの個別支援計画をもとに学習プリントや個別の活動を準備している。飽きてしまわないように、内容の見直しはその都度行っている。	職員それぞれが児童の「ここまでは自分で出来る」「これは難しい」の見極めを行い、20分間学習や個別活動に取り組む、座る事が出来るようにして、より充実した時間になるようにする。
2	法人内で主に小学校低学年の児童が利用する事業所があり、イベント等で異年齢の交流が出来る。	季節のイベント(ハロウィン、節分等)を合同で行い、グループ内で年上の児童が年下の児童に教える機会などを設けている。	児童から主体性を引き出し、アイデアをもとにイベントが出来るように今後はしていきたい。
3	保護者と話す機会を出来るだけ持てるように、自宅へ送った際には児童の様子を丁寧に伝えることを心がけており、また自宅等での様子についても知る機会としている。直接のやり取りが難しい場合にはメール等を使用している。	職員から保護者へ伝えたこと、保護者から伝えてもらったことを、他の職員とも共有している。	保護者へお子さんの様子を伝えた時の様子も気づきを得られるようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースは基準を満たしているが、構造上音が響くため、休校日に児童が一日過ごす場合には、身体を動かす活動に制限がある。	音が響きやすい建物の構造が要因と考える。対象児童は小学高学年からとなるため、部屋も狭く感じることがある。	就労時間中に、事業所の児童が身体を動かす場合にはストレッチなど座ったままで出来るような活動をおこなう。また真夏以外には、目的をもって(季節を感じる等)ウォーキング、公園での集団遊びを積極的に取り入れる。さらに体の使い方について学ぶ機会を増やす。安全面には十分に考慮する。
2			
3			